



早川 貴光 議員
はやかわ たかみつ



地方財政について

Q 所得税の基礎控除などを103万円から178万円に引き上げた際に、本市がどの程度減収になるのか伺いたい。

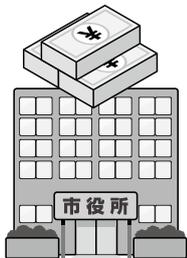
A 総合政策部長

所得税の基礎控除の引上げについては現在国会等において議論されているところですが、年収の壁と言われている103万円とは、給与所得控除の55万円と基礎控除の48万円を合計したもので、この合計額を178万円に引き上げようという一つの考え方です。

現時点では、給与所得控除や基礎控除を幾らにするかということとは未確定の状況です。このことから、仮に市民税の基礎控除を75万円に引き上げるとした場合の市民税の影響額を試算すると、およそ20億円程度の減収になると見込まれるところです。

その他の質問

- ☆市職員が安心して働くことのできる環境整備について
- ☆男女共同参画について



小森 隆一 議員
こもり りゅういち
(公明党議員会)



市民サービスの充実について

Q 佐野市公式ラインについて、市民がさらに便利になる機能を集め、さらなるDXを実践するために、市民・企業・地域・行政をつなぐ共通プラットフォームの充実進化を要望するが、見解を伺いたい。

A 総合政策部長

本市では、情報発信手段の一つとしてラインを活用しています。現在ごみ出しや手続き案内、イベント検索などができるよう市民と行政をつなぐ共通プラットフォームとして活用しているところです。今後自治体DXを推進する上で、ラインを用いたサービスの拡張や別のプラットフォームの導入などが想定されますが、市民サービスの向上に向け、関係各課とともに調査研究を進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆健康長寿推進とまちづくりについて
- ☆不登校対策の推進について
- ☆子どもの居場所づくりと学びの充実について
- ☆地域公共交通について



慶野 常夫 議員
けいの つねお
(政友みらい)



本市の都市公園について

Q グランディ新都市セントラルパーク(新都市中央公園)は様々な理由から支障物となる建物は極力配置しない計画で整備したとのことだが、市民の声を受け止め、日よけ対策の取り組みを行ってほしいと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A 都市建設部長

設置しているあずまや、シェルター以外の日よけを造る具体的な計画は現在ありません。この最近の酷暑での公園利用に際しては、適切な時間帯・服装で熱中症等に気をつけながら過ごしていただき、場合によっては利用を控えていただくことが現時点においての一番の対策であると認識しています。

なお、ペグを使用しないテントやタープ等を持参の上、周りの利用者の迷惑とならないよう使用していただくことは可能となっております。

その他の質問

- ☆電気自動車(EV)用充電設備について
- ☆ラーケーション制度について
- ☆就学相談について

